

平成29年度「県大へ行こう—授業公開週間—」

科目別授業概要一覧

【庄原キャンパス】

【7月20日（木）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
1	微生物学	阪口 利文	大講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、生命体の基本構造を有し、幅広い自然界に存在する微生物について、その概要から、認知、観察、取扱いをはじめ、分類・生理・生態から応用の外観にいたるまでを解説します。</p> <p>当日は外部講師をお招きして講義を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語 I	河村 和也	2502 CALL 教室	20名程度
<p>1年生を対象に、語彙力や文法力を高め、さまざまな分野の英文を正確に理解できること、文章の社会的・文化的・歴史的背景を読み取り、異なる文化に対する知識を深められること、自分の意見を平易な英語を用いて表現できることを目標とした授業です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語表現 I	ロナルド・スチュワート	2503 講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、学生同士の練習を通して、コミュニケーションの基本方法を修得することを目標とした授業です。当日は、これまでの授業の復習を行った後、プレゼンテーションの練習を行う予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	体育実技 I	楠堀 誠司	体育館	指定なし
<p>1年生を対象に、実際に体を動かし、スポーツを体験するという過程・勝敗そのものに学びながら学習を進め、新たに始まる大学生活をより良いものにするためのヒントを探し、どうすればより良い自分に近づけるのかを目指す授業です。当日は、バドミントンの実施実技を行う予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	生理学	山下 泰尚	大講義室	指定なし
<p>生命科学科2年生を対象に、生物の構造単位がいかんにして制御・調節されるかについての基礎を習得することを目標とした授業です。本講義では、主に、細胞生理、感覚、神経、消化・吸収、腎臓機能、血液、循環器、呼吸器系、生殖器などの器官ごとの生理的メカニズムについて論じます。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	毒性学	稲垣 匡子	1202 講義室	指定なし
<p>生命科学科3年生を対象に、現在我々が日常的に接している医薬品・食品添加物・環境化学物質および天然化学物質が、生体に及ぼす影響を分子・細胞・個体レベルで理解することを目標とした授業です。本講義では、生体異物に対する恒常性維持機構や有害物質に対する解毒機構、さらに毒性発現機構について基本的な知識を講義します。次に、医薬品・食品添加物・環境化学物質および天然化学物質の有害性について講義します。さらにこれらの有害性を予測する知識や技術について解説し、身につけられるよう指導します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	有機分析化学	三苦 好治	2201 講義室	指定なし
<p>環境科学科3年生を対象に、分離及び分析法の基本を理解することを目標にした授業です。本講義では、複雑な化学成分を単一成分に分ける、化学分析の中核をなす種々の分離法に関する原理及び応用について講義し、分配、吸着、イオン交換、ゲル浸透などによる分離機構について解説なども行います。</p> <p style="text-align: center;"><u>【都合により参加申込できません】</u></p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語 I	馬本 勉	2502 講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、語彙力や文法力を高め、さまざまな分野の英文を正確に理解できること、文章の社会的・文化的・歴史的背景を読み取り、異なる文化に対する知識を深められること、自分の意見を平易な英語を用いて表現できることを目標とした授業です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	体育実技 I	楠堀 誠司	体育館	指定なし
<p>1年生を対象に、実際に体を動かし、スポーツを体験するという過程・勝敗そのものに学びながら学習を進め、新たに始まる大学生活をより良いものにするためのヒントを探し、どうすればより良い自分に近づけるのかを目指す授業です。当日は、バドミントンの実施実技を行う予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	分子進化発生学	菅 裕	大講義室	指定なし
<p>生命科学科2年生（応用生命科学コース）対象に、卵が大人になっていく発生という現象から生物の進化を理解し、そのメカニズムをDNAレベルで解明しようとする分子進化発生学（エボデボ；evo-devo）という分野を学ぶことを目標とした授業です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3-5	環境マネジメント学実習	西村 和之	1501 PC 演習室	指定なし
<p>環境科学科3年生対象に、環境マネジメント、エネルギー消費量、LCA、インベントリ分析、インパクト評価、環境政策、リスク評価、室内気象などをキーワードに、環境マネジメントの具体例を通して様々な解析方法があることを学習する授業です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	植物組織培養学	荻田 信二郎	大講義室	20名程度
<p>生命科学科3年生を対象に、私たちが資源利用している植物について、さらには植物細胞・組織培養技術の活用術について、受講学生が小グループを構成して調査した内容の発表と解説を行っている授業です（AL形式）。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	奥 尚（又は教学課） 八木 俊樹、阪口 利文 野下 俊朗、長尾 則男 青柳 充	各研究室	20名程度
<p>前半で、生命環境学部（生命科学科、環境科学科）の特徴や入試について説明します。後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

【7月21日（金）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	高校生向け・理系進学キャリア アガイダンス	原田 淳	2302講義室	指定なし
理系の高校生を対象に、大学（理系学部）への進学や進学後の就職活動・大学院進学などのキャリアについてガイダンスを行います。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	物理学 I	加藤 一生	2202講義室	指定なし
1年生を対象に、自然科学の学習に必要な基礎物理学、基礎的な物理法則への理解ならびに物理量の簡単な取り扱い方法を修得することを目標としています。本講義では、物理学の目的と方法を解説した後、古典物理学の概要（特に力学と電磁気学の基礎的な事柄）について講義します。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	基礎食品学	山本 幸弘	大講義室	15名程度
生命科学科2年生を対象に、食に対する正しい理解と倫理観を養い、日頃から健康・健全な生活を送るために必要な基本的知識を習得することを目標としています。本講義では、糖質、タンパク質、脂質、ミネラル、ビタミンなどの各種成分について定義・構造・所在など基本的な栄養機能について解説します。（注）1時間程度の受講になります。期末試験実施にはご退出願います。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	土壌肥料学	増田 泰三	3201講義室	指定なし
生命科学科3年生（食品資源科学コース）を対象に、正しい認識を持って食料生産などの研究に取り組めるようにすることを目標としています。本講義では、土壌を貴重で有限な資源として認識し、安心して生物生産と環境保全に生かして行くことができるように、保全と利用を進めるための基本的知識について解説します。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3-5	環境マネジメント学実習	西村 和之	1501PC演習室	指定なし
環境科学科3年生対象に、環境マネジメント、エネルギー消費量、LCA、インベントリ分析、インパクト評価、環境政策、リスク評価、室内気象などをキーワードに、環境マネジメントの具体例を通して様々な解析方法があることを学習する授業です。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	奥 尚（又は教学課） 野下 俊朗、長尾 則男 青柳 充、崎田 省吾	各研究室	20名程度
前半で、生命環境学部（生命科学科、環境科学科）の特徴や入試について説明します。後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。				

【7月24日（月）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語Ⅲ	河村 和也	2201講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、英文を正確に読み取ることができ、critical reading やプレゼンテーションができること、自分の意見を英語で表現し、相手に効果的に伝えることができることを目標としています。本講義では、リーディングに必要なスキルを駆使し、速読や多読を行い、読解によって得た情報をもとに意見をまとめ、効果的な発信へのつなげる活動を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	文学	遠藤 伸治	1202講義室	指定なし
<p>1年生以上を対象に、文学作品を鑑賞することを楽しむこと、文学に関する基本的な概念や基礎的な内容を理解することを目標としています。本講義では、現代日本の社会状況に深く根ざし、時代の推移と社会の変貌につれ、その時々課題に取り組んできた、時代を捉える指標になると思われる作品をテキストとし、現在の我々を考える上で必須の、家族、性、グローバル化などの問題がどのように表わされているかを読み取っていきます。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	物質科学	大竹 才人	2302講義室	指定なし
<p>1年生以上を対象に、電子軌道・電子配置・原子構造・分子軌道・混成軌道・化学結合・σ結合・π結合・共役系をキーワードに、物質の構造、性質、振る舞いなどの特徴を、学術的な体系に従って論理的に理解し明らかにしていくことを目標としています。本講義では、物質に対する本質的な理解を系統的に広げるための講義を行います。(注)他キャンパスへ遠隔配信しています。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	生活化学	長尾 則男	2202講義室	指定なし
<p>1年生以上を対象に、「身近な化学」に関する講義を展開し、生命環境学部分野に必要な化学的知識を理解すること、今後学んでいく専門領域への橋渡しとなるよう、基礎知識の充実を目標としています。本講義では、身の回りの化学が関与する事例を紹介しながら、生命の化学、食の化学、暮らしの化学、技術の化学、環境の化学について解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	県大生として学ぶ 広島と世界	上水流 久彦	大講義室	指定なし
<p>1年生以上を対象に、県立広島大学、留学、国外事情をキーワードに、地域の諸問題への取り組みや国際交流活動において中心的な役割を果たしている教員の講義及び留学経験者等の話を聴くことを通して、地域に立脚した県立広島大学の歴史と現状、協定校のある中国、韓国、ハワイ、イギリス、インドネシア、タイ、台湾、ドイツ、フィンランド、オーストラリアなどの社会や文化について基本的な知識を修得し、地域での活動や、留学への関心を高めることを目標としています。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	教育心理学	坪田 雄二	2101講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、教育活動を効果的なものにするために必要となる、子どもの発達や学習の特徴や知能や動機づけなどの知識が理解できることや、いくつかの教育上の現象を心理学の知識を使って説明できるようになることを目標としています。理学的観点から効果的な教育活動を支えるための教育心理学の領域の中から、発達、学習、記憶、知能、動機づけ、教授法、教育評価、障害児教育のトピックなどを解説します。(注) 教員免許修得に必要な科目です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	生物学 I	入船 浩平	2201講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、今後の生命科学、環境科学における専門分野への橋渡しとして、生物学の基礎的事象の理解を行うことを目標としています。本講義では、細胞と分子、代謝、遺伝子情報の発現、生殖・発生・遺伝、生物の生活と環境、環境応答、分類系統と進化などについて解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	基礎植物生理学	福永 健二	3201講義室	指定なし
<p>生命科学科2年生を対象に、植物学の基礎である植物生理学とそれに関連する植物の形態や分類について理解し説明できるようになることを目標としています。本講義では、動物とは異なる植物の適応のメカニズムについて解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	食品化学	山本 幸弘	1202講義室	15名程度
<p>生命科学科3年生を対象に、食に対する正しい理解と倫理観を養い、日頃から健康・健全な生活を送るために必要な基本的知識、特に化学的な目線で食品を評価できるようにすることを習得することを目標としています。本講義では、化学的な視点から食品における様々な変化や食品における様々な変化を解説します。履修者は、食品を取り巻く様々なトピックについて各々が興味のあるテーマを選択・調査し、プレゼンテーションを行います。(注) 当日は1時間程度の受講になります。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	機能材料化学	大竹 才人	1201講義室	指定なし
<p>環境科学科3年生対象に、機能材料を理解するために、電子の振る舞いに基づいて初歩から解説し、その理解と修得を目標としています。本講義では、電気的性質として半導体、磁気的性質として磁性体、光学的性質として発光体について扱い、材料の多彩な機能について解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	数学 I	疋田 瑞穂	大講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、極限、微分、積分をキーワードに数学特有の抽象的な議論を通じて、論理的な思考力を養うことを目標とし、授業を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	無機化学	西本 潤	2202講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、原子レベルで無機物質の構造や挙動や性質を説明できることを目標にしています。本講義では、原子価結合法や分子軌道法や静電結晶場理論の基礎、硬い軟らかい (HSAB)、ブルーベダイヤグラムや電池と電気分解、結晶の単位格子及びミラー指数、異性体、錯体のスペクトル、錯体の反応について授業します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	【大学院】生命システム科学 専攻特別講義	荻田 信二郎 (外部講師)	2302講義室	指定なし
<p>大学院生を対象にした講義です。当日は、外部講師として京都大学 生存圏研究所 森林圏遺伝子統御分野の杉山暁史先生をお招きし、「根圏での植物と微生物の相互作用 (仮題)」というテーマで、より高度な内容について説明します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	奥 尚 (又は教学課) 野下 俊朗、長尾 則男 西村 和之、大竹 才人	各研究室	20名程度
<p>前半で、生命環境学部 (生命科学科、環境科学科) の特徴や入試について説明します。後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
5	環境水理学	崎田 省吾	1202講義室	指定なし
<p>環境科学科3年生を対象に、水の流れの力学を数理的視点から学び、「環境水理学の専門用語を用いて、各種現象や定理を正確に説明できること」、「基本的な流量計算ができる」、「物質収支の概念を理解できること」、「エネルギー損失に関する基本的計算ができること」を目標とし、授業を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
5	農業経営学	村田 和賀代	2201講義室	指定なし
<p>生命科学科2年生 (食品資源科学コース) を対象に、農業をビジネスとして捉え、利益を上げるためにはどのような視点が必要であるのか、農業経営者に必要な能力や経営分析・経営計画の手法などの基礎を把握することを目標とした授業を行います。</p>				

【7月25日（火）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
1	バイオ商品開発論	村田 和賀代ほか	1202講義室	指定なし
<p>生命科学科3年生（食品資源科学コース）を対象に、複数教員による実践的な科目で、農業、地域資源、住民生活、行政などと密接に関連しており、地域産業振興に欠かせない商品開発について理論を学習し、その成果に基づいて履修者が商品開発プランのプレゼンテーションをする授業を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
1	有機化学	野下 俊朗	大講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、有機化合物に関する知識を習得することや有機化合物を取扱う実験・研究に必要な基礎知識を身につけることを目標とし、有機化学の基礎概念や有機化合物の概要、生物有機化学などについて授業を行う。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語 I	河村 和也	2502講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、語彙力や文法力を高め、さまざまな分野の英文を正確に理解できること、文章の社会的・文化的・歴史的背景を読み取り、異なる文化に対する知識を深められること、自分の意見を平易な英語を用いて表現できることを目標とした授業です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語表現 I	ロナルド・スチュワート	2503講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、学生同士の練習を通して、コミュニケーションの基本方法を修得することを目標とした授業です。 当日は、これまでの授業の復習を行った後、プレゼンテーションの練習を行う予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	農業経済学	堀田 学	1201講義室	指定なし
<p>生命科学科2年生（食品資源科学コース）を対象に、農業を社会科学として捉え、近代経済学、組織論、農業政策論、農産物流通論等を含めて基礎理論を習得することや総括的に把握することを目的としています。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	生物物理化学	八木 俊樹	1202講義室	指定なし
<p>生命科学科2年生（応用生命科学コース）を対象に、生物科学の基礎となる物理学・化学（生物の運動や生物体内の情報処理などの具体例を上げながら、生物が従う物理学や、化学の法則や生命科学の研究で用いられる様々な物理化学的な研究手法など）本講義では、子線を利用した顕微鏡、電子顕微鏡について解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	物理化学	内藤 佳奈子	3201講義室	指定なし
<p>環境科学科2年生を対象に、物理化学の重要な領域である量子化学、熱力学、化学反応速度論と、物質の相変化ならびに溶液の化学などに関する基礎の修得を目標としている。本講義では、結晶格子について平衡論から講述し、環境科学、生命科学で応用されている現代の物理化学について解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	タンパク質工学	小西 博昭	2202講義室	指定なし
<p>生命科学科3年生を対象に、生命維持に不可欠な個々のタンパク質機能を発揮するため、「遺伝情報からの正しいタンパク質の翻訳」、「タンパク質の構造変化と活性制御」、「タンパク質翻訳後修飾（リン酸化、アセチル化、メチル化など）」、「タンパク質分解」について解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語 I	河村 和也	2502講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、語彙力や文法力を高め、さまざまな分野の英文を正確に理解できること、文章の社会的・文化的・歴史的背景を読み取り、異なる文化に対する知識を深められること、自分の意見を平易な英語を用いて表現できることを目標とした授業です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語表現 I	ロナルド・スチュワート	2503講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、学生同士の練習を通して、コミュニケーションの基本方法を修得することを目標とした授業です。当日は、これまでの授業の復習を行った後、プレゼンテーションの練習を行う予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	遺伝子工学	奥 尚	大講義室	指定なし
<p>3年生を対象に、遺伝子工学の分子生物学的背景と原理、技術について述べると共に、どのように応用されているかについて述べていきます。これらを通じて、バイオテクノロジーの重要な柱である遺伝子操作技術を理解し、これを実際に利用するための知識を修得することを目標としています。本講義では、遺伝子工学の応用例について示し、人類の生活とその将来について考える授業を行う予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	フィールド科学実習	甲村 浩之ほか	農場など	指定なし
<p>2年生を対象に、栽培、食品加工、環境分析に関わる基礎技術を実践的に学ぶことや地域の実情について実際に見学し、地域産業の特色、課題を学ぶことを目標としています。本講義では、果樹管理・剪定と結果習性や果樹管理・剪定と結果習性について授業します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	生物資源化学	野下 俊朗	1201講義室	指定なし
<p>生命科学科3年生を対象に、植物、微生物、二次代謝産物、生物活性化合物、天然物の分離・構造決定、生合成、分子構造と生物活性などをキーワードに、天然物有機化学の役割、化学構造、資源としての有用性などについて授業します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	奥 尚（又は教学課） 入船 浩平、長尾 則男 齋藤 靖和、八木 俊樹 西村 和之、青柳 充 崎田 省吾	各研究室	20名程度
<p>前半で、生命環境学部（生命科学科、環境科学科）の特徴や入試について説明します。後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

【7月26日（水）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語Ⅲ	河村 和也	1202講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、英文を正確に読み取ることができ、critical reading やプレゼンテーションができること、自分の意見を英語で表現し、相手に効果的に伝えることができることを目標としています。本講義では、リーディングに必要なスキルを駆使し、速読や多読を行い、読解によって得た情報をもとに意見をまとめ、効果的な発信へのつなげる活動を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語表現Ⅲ	ロナルド・スチュワート	2101講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、基本的なライティングスキルを身につけることを目標としています。正しい英語の文章を書くための基本的な語彙や文法、表現方法などについて授業します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	環境科学概論	原田 浩幸	大講義室	指定なし
<p>1年生以上を対象に、環境に関する幅広い知識をもとに率先して環境問題に取り組み、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」を促進に貢献できる「人財育成」を目標にしています。本講義では、環境社会検定（エコ検定）への合格も踏まえて授業を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	食品保存学	吉野 智之	2202講義室	指定なし
<p>生命科学科3年生を対象に、「食品製造における保存方法」を理解することを目標としています。本講義では、食品製造・加工中の微生物や成分の挙動を学び、食品の安全性やその表示方法を理解し、食品の製造・加工および保存の方法について講義を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	数学演習	疋田 瑞穂	2201講義室	指定なし
<p>1年生を対象に、微分・積分・偏微分・重積分・微分方程式をキーワードに、与えられた公式を使用する演習を通じて、専門科目を履修するのに必要な計算力を養うことを目的とし授業を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語Ⅲ	河村 和也	1202講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、英文を正確に読み取ることができ、critical reading やプレゼンテーションができること、自分の意見を英語で表現し、相手に効果的に伝えることができることを目標としています。本講義では、リーディングに必要なスキルを駆使し、速読や多読を行い、読解によって得た情報をもとに意見をまとめ、効果的な発信へのつなげる活動を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語表現Ⅲ	ロナルド・スチュワート	2101講義室	指定なし
<p>2年生を対象に、基本的なライティングスキルを身につけることを目標としています。正しい英語の文章を書くための基本的な語彙や文法、表現方法などについて授業します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	環境社会科学Ⅰ	小林 謙介	2202講義室	指定なし
<p>環境科学科2年生を対象に、国・自治体、事業者、個人・市民など、社会におけるそれぞれの立場から、環境問題にどのような形で取り組み、循環型社会の構築に向けた活動が行われているのかを理解することを目標としています。本講義では、地球温暖化を例に、世界における環境計画について、ねらいや、効果・課題などについて解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	環境マネジメント学	小林 謙介	2202講義室	指定なし
<p>環境科学科3年生を対象に、エネルギー消費量の分析を例に動態を捉えるための計測方法や解析方法や様々な環境影響を解析するため、ライフサイクルアセスメント手法を用いた評価手法等について理解すること、マテリアルフロー分析にも触れ、自ら環境動態を解析し、定量的な視点からその削減策を提案するための力を身につけることを目標としています。</p> <p>本講義では、環境動態を捉える方法のひとつに産業連関表を用いた方法がある。産業連関表を用いてできる環境動態の分析手法について学ぶとともに、産業連関表自体の仕組みについて解説します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	奥 尚（又は教学課） 入船 浩平、野下 俊朗 八木 俊樹、齋藤 靖和	各研究室	20名程度
<p>前半で、生命環境学部（生命科学科、環境科学科）の特徴や入試について説明します。後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
5	機能性物質科学	青柳 充	2201講義室	指定なし
<p>環境科学科2年生を対象に、化学構造や分子の高次構造に基づいて機能を発揮する物質群に対する幅広い知識を獲得し整理できること、環境問題ともかかわりの深い「モノ」を構成する有機物である「プラスチック」や「生体構成物質」などの素材についての化学的知識を得ることを目的に授業を行います。</p>				